

方々が積極的に参加して下さる企画を進めていきたいと思っています。

**市長** 非日常の体験だけでなく、日常的な利用もできるような施設にしていくためには地域との信頼関係を構築していくことが大切です。

**脇岡** 平日に皆さんに来ていただくための企画を考えなくてはならないと思っています。

平日はシニア層や主婦層が中心になると思いますので、その方々が楽しめるコンテンツを企画していき、地域とのつながりを密にしていきたいですね。

また、地域の演奏家やアーティストにアイデアを出してもらい、皆さんに来ていただける施設にしていきたいと思っています。加えてSNS、ホームページなどを通じて、皆さんに情報発信していきます。

**市長** 次に自主事業についてですが、市民の皆さんに文化芸術の鑑賞の機会を提供するという意味では、良い事業をできる限り安価で鑑賞していただくことが大事です。指定管理者に質の高い事業を企画していただけるよう、津市も職員の育成に尽力しており、舞台芸術や文化施設の管理運営に携わってきた専門性のある者を職務経験者として採用するなど充実を図ってきました。今後、久



居アルスプラザで展開していく自主事業を、ケイミックスパブリックビジネスの皆さんと職員と一緒に考えていきたいと思っています。

**脇岡** 津市の自主事業をしっかり担うためにも私の演奏家、指揮者、プロデューサーとしてのスキルや経験を最大限事業に注いでいく所存です。地域アーティストによる公演はもとより「市民のための市民が主役」となるような合唱団やミュージカル、市民公募企画などの創造型事業を多彩に開催していく予定です。

また、文化活動を支える人材として「ときの風サポーター」の設立や、未来の芸術家や制作スタッフの人材育成に努めるなど、当社の専門性を生かしながら、津市の文化芸術をさらに盛り上げ、地域の活性化にも力を注いでまいります。

**市長** これからの事業展開を楽しみ

にしています。今後の管理運営に当たっての意気込みなどお聞かせください。

**脇岡** 津市との連携の下、効率的な運営と安全の確保はもとより、久居アルスプラザが津市の文化芸術をけん引する、新しい時代にふさわしい拠点となるよう質の高い事業を展開するとともに、地域のにぎわいを創出し、さまざまな年代の市民の皆さんに気軽に集まっていただける新しい広場となることを目指します。それが「津市久居モデル」といわれるように、施設を市民の皆さんと共に楽しく育てていきたいと思っています。そのために社員一同全力を尽くします。

**市長** アルスプラザという施設名は、人々が集い文化芸術が生まれる場所というイメージで付けられました。その名にふさわしい事業展開に期待し、津市としても指定管理者との十分な意思疎通を図ってまいります。

市民が日常的に利用できる施設に開かれた



津市長  
**前葉 泰幸**  
MAEBA YASUYUKI

市長対談の全編がご覧いただけます!  
**MAYOR'S TV SHOW**

- ◆ 津市ホームページ 津市 市長対談 検索
- ◆ ケーブルテレビ行政情報番組(123ch)



PLAZA